

第 18 章 資金調達

1. ラオスにおける資金調達の現状

ラオスでは企業の資金調達についての規制はほとんどなく、地場銀行ないしは外資系銀行からの現地通貨建て借入れ、外貨通貨建て（パーツとドル）借入れが可能である。

外貨口座であっても現金での引きおろしや他の口座への送金が可能であるが、引き出し金額が 2 万ドルを超える場合は、事前に当該銀行に通知する必要がある。これは事前に資金を準備する必要があるためであり、ラオス国内において、銀行から現地通貨ないしは外貨を借入れるに当たっては資金に制約がある点に注意する必要がある。

地場企業によるラオス国内での資金調達は増えてきたが、外国企業の資金調達については、担保など条件のハードルが高く、海外調達が一般的である。

海外からの資金調達は海外金融機関（タイ工場の出先である場合、タイの銀行）からの借入れもしくは親子ローンが一般的である。借入れに際しては、ラオス中央銀行の許可を得る必要がある（ローン契約書、送金許可書を提示）。その場合、金額の上限や用途制限などは無く、借入れ期間、金利などは当事者間あるいは親子間で取り決めることになっている。

図表 18-1 は 2013 年 1～8 月のキープ、パーツ、ドル建ての貸出し期間別、平均貸出金利を示している。

なお、貸出し金利は顧客を信用度に応じて 3 種類に分けて決められている。すなわち、最も信用度の高い顧客（A）、要注意顧客（B）、債務の多い顧客（C）であり、キープ建て、パーツ建て、ドル建てのそれぞれについて、金利は A ランクの顧客が低く、C ランクの顧客には高くなっている。

ラオス最大の商業銀行である BCEL（外国貿易銀行）の貸出し構成を見ると、2013 年 9 月末時点で A ランクの顧客への貸出しが全体の 95%と圧倒的な割合を占め、B ランクへの顧客への貸出しは 4.1%、C ランク以下の顧客への貸出しは 0.7%にすぎなかった。同じく 2013 年 9 月期の BCEL の通貨別の貸出し額を見ると、パーツ建てが 42.9%と最も多く、キープ建ては 42.5%、ドル建ては 14.6%であった。貸出し期間別にみると、中期（1～3 年）が最も多く 54.7%と過半を占め、次いで短期（1 年）が 29.5%、長期（3～5 年）が 15.8%であった。

第 17 章で見たとおり、ラオスにおける資本市場はまだ発展の初期段階にあり、制度的には可能であっても内外の一般企業がラオスの資本市場を利用することは稀であるといつてよいだろう。

図表 18-1 信用度に応じた顧客別平均貸出し金利 (%)

		2013/1	2013/2	2013/3	2013/4	2013/5	2013/6	2013/7	2013/8
顧客A									
キープ	短期(1年)	12.85	12.85	12.81	12.63	12.80	12.69	12.96	12.96
	中期(1~3年)	13.23	13.23	13.23	13.05	13.23	13.12	13.21	13.21
	長期(3~6年)	13.76	13.76	13.69	13.51	13.80	13.69	13.81	13.81
パーツ	短期(1年)	9.20	9.20	9.26	9.26	9.27	9.22	9.36	9.36
	中期(1~3年)	9.04	9.04	9.13	9.13	9.12	9.08	9.26	9.26
	長期(3~6年)	10.03	10.03	10.09	10.09	10.00	9.94	10.16	10.16
ドル	短期(1年)	8.14	8.14	8.23	8.25	8.33	8.27	8.52	8.52
	中期(1~3年)	8.79	8.78	8.89	8.89	8.92	8.87	9.12	9.12
	長期(3~6年)	9.47	9.47	9.54	9.54	9.70	9.65	9.90	9.90
顧客B									
キープ	短期(1年)	13.10	13.10	13.10	11.85	13.85	13.10	13.12	13.12
	中期(1~3年)	14.44	14.44	14.44	13.19	15.19	14.44	14.46	14.46
	長期(3~6年)	14.77	14.77	14.77	13.52	15.52	14.77	14.84	14.84
パーツ	短期(1年)	9.23	9.23	9.23	9.23	9.60	9.23	9.12	9.12
	中期(1~3年)	9.73	9.73	9.73	9.73	10.11	9.73	9.78	9.78
	長期(3~6年)	10.05	10.05	10.05	10.05	10.42	10.05	10.07	10.07
ドル	短期(1年)	8.77	8.77	8.77	8.77	9.14	8.77	9.12	9.12
	中期(1~3年)	9.34	9.34	9.34	9.34	9.71	9.34	9.78	9.78
	長期(3~6年)	9.67	9.67	9.67	9.67	10.05	9.67	10.07	10.07
顧客C									
キープ	短期(1年)	14.14	14.14	14.14	12.48	15.14	14.14	14.39	14.39
	中期(1~3年)	15.31	15.31	15.31	13.64	16.31	15.31	15.56	15.56
	長期(3~6年)	15.78	15.78	15.78	14.11	16.78	15.78	16.03	16.03
パーツ	短期(1年)	10.02	10.02	10.02	10.02	10.52	10.02	9.94	9.94
	中期(1~3年)	10.54	10.54	10.54	10.54	11.04	10.54	10.46	10.46
	長期(3~6年)	11.21	11.21	11.21	11.21	11.71	11.21	11.13	11.13
ドル	短期(1年)	9.47	9.47	9.47	9.47	9.97	9.47	9.72	9.72
	中期(1~3年)	10.07	10.07	10.07	10.07	10.57	10.07	10.32	10.32
	長期(3~6年)	10.83	10.83	10.83	10.83	11.33	10.83	11.08	11.08

(出所) ラオス中央銀行ホームページ

2. 日系企業の資金調達

多くの日系企業の主な資金調達手段は親会社からの出資であるが、親会社(日本あるいはタイ)からのローンもある。特にラオス法人が日系タイ法人の子会社である場合、親子間の送金にはパーツが用いられる。日本からの送金はドルである場合が多い。

日系企業がラオス国内で口座を開く場合、地場最大の商業銀行である BCEL を使うケースが多く、それらの企業によると販売代金の入金など、決済に問題はないという。「タイ・プラス・ワン」タイプの投資の場合、BCEL に口座を開設した後、タイ系の銀行の支店に口座を開設し、タイ本社との資金のやり取りを行う場合が多いとされている。このため、多くの日系企業は、ラオス国内に、ドル、パーツ、キープの当座預金口座を持ち、通貨の運用を行う場合、ドルや円をパーツやキープに交換して行っている。

第17章で見たように、ラオスには2012年まで日系の銀行はなかったが、2013年初めに、シンガポールから出資のマルハンジャパン銀行が開設された。マルハンは日本国内で金融ビジネスを行っていないため、日系企業が利用するというよりも、今後カンボジアをはじめとした域内でのビジネス展開により、地場企業、個人を取り込んでいくことになるだろう。

う。

一方、2013年12月、三菱東京UFJ銀行(MUFG)が、タイのアユタヤ銀行を株式公開買付により完全子会社化したことによる、日系企業への影響も大きいと考えられる。タイ中央銀行の規制によって、外国銀行は「一拠点主義」に従わねばならないため、MUFGバンコク支店とアユタヤ銀行を統合し、MUFGは今後アユタヤ銀行の支店網を通して、インドシナ諸国において、日系企業向け業務に加えてアユタヤ銀行が得意としている個人・中小企業金融を展開することが出来るようになった。今後、日系企業のアユタヤ銀行の利用が増えるだろう。

3. 商業銀行の役割

商業銀行は中央銀行を除くとラオスにおける金融機関の全てであり、個人、法人を問わず、金融機関を利用するとなると商業銀行を選択することになる。

図表 18-2 は最近の商業銀行の信用供与額を部門別に見たものである。近年の信用供与額の伸びは年率 449%と高く、中でも増加率が著しいのは、建設部門(117%)、サービス部門(69%)、輸送部門(63%)である。しかし、最大の貸出し先は商業部門であり、全体に占める割合は約 4 分の 1 となっている。一方、工業・手工業部門への貸出しの伸びは平均伸び率を下回っており、ラオスの最近の経済発展が建設、輸送などインフラ部門の需要に支えられていることが分かる。

図表 18-2 商業銀行の部門別信用供与額

	2008		2010		2012		08~12 平均伸び率 (%)
	金額 (10億キープ)	シェア (%)	金額 (10億キープ)	シェア (%)	金額 (10億キープ)	シェア (%)	
工業・手工芸	1,001	19.4	2,463	18.7	4,091	16.0	42.2
建設	206	4.0	1,620	12.3	4,602	18.0	117.4
資材・技術供与	439	8.5	632	4.8	1,023	4.0	23.6
農業	671	13.0	2,068	15.7	2,045	8.0	32.1
商業	1,336	25.9	3,082	23.4	6,136	24.0	46.4
輸送	145	2.8	514	3.9	1,023	4.0	63.0
サービス	501	9.7	1,659	12.6	4,091	16.0	69.0
その他	862	16.7	1,133	8.6	2,557	10.0	31.2
合計	5,162	100.0	13,170	100.0	25,566	100.0	49.2

(出所) ラオス中央銀行、Annual Report 2012